

# ネイチャーウォッチングだより

令和6年 10月 28日(月)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大・短大

Aグループ最後となる「星空ウォッチング」を、10月19日(土)の夜、岡崎市少年自然の家で開催しました。例年は空気の澄んだ冬の星空を中心に観察会を計画していますが、今回は話題の「紫金山・アトラスすい星」を見ようと、秋の星空観察会となりました。スタッフは、すい星が見られる時間帯や方位、高度などを想定しながら準備を進めてきました。



天体の解説をされる藤井先生

ところが、当日はあいにくの雨模様となってしまいました。そうした天候にもかかわらず、19組65名の親子の皆さんが参加し、講師の日本天文学会会員、藤井哲也先生の、これまでの観測で得た豊富な経験等の話を傾けました。藤井先生は、世界中で撮影した天体写真や天文ソフトを使って、この日見られるはずだった星空の解説をしてくださいました。プロジェクターから映し出される映像がすばらしく、本当に見ている気持ちになりました。

まず、紫金山・アトラス彗星の見え方を話していただきました。夕方の西の空、金星の右斜め上辺りに長い尾を引いた姿が見られるそうです。高度が少しずつ上がっていくため見やすくなるとのこと。ぜひ探してみたいものですね。

次に、土星の話です。現在、土星の輪がとても細く見えるようになっていることが、天文ソフトの望遠鏡モードで映された姿でわかりました。来年は、その輪が一直線のように見えると説明されたときは、驚きの声が上がりました。



土星の輪が細い!

特に関心が高まったのは、皆既日食の話でした。過去にハワイや中国、太平洋



11年後、日本で見える皆既日食

などで観測したものの、天気にも恵まれず見る事ができなかったが、何度も挑戦し、ようやくアメリカやメキシコで皆既日食を観測できた話に感動させられました。また、11年後の2035年9月2日には、日本の関東地方から北陸地方にかけて皆既日食が、17年後の2041年の10月25日には、東海地方で「金環日食」が見られるそうです。

夢とロマンあふれる藤井先生の話に引き込まれ、1時間があっというまに過ぎていきました。

最後に、皆さんの感想の一部を抜粋して紹介します。

藤井先生のお話が興味深く、お写真も盛りだくさんで楽しめました!数々の挑戦をされた中での貴重な成功体験。諦めない姿勢も心に残り、元気をいただきました!ありがとうございました!(親)

今までに聞いたこともないような、惑星の話が聞けて楽しかったです。(子)

藤井先生の待ちに待って見られた星空の話や、忍耐力がとても心に響きました。お土産の写真を家に飾って、パワーをいただきたいと思います。また、ずっと先の星空や、それが変化する形を見ることができ、興味深い時間でした。(母)

内容はとてもおもしろかったです。これから天体ショーの情報にアンテナをはってみます。(母)

これからいろんなほしをみたいです。(子)

お土産のダイヤモンドリングの瞬間の写真がすごかったです。(子)

37年後のハレー彗星もぜひ見みたいです。(母)

晴れて土星を見たかったです。(子)

藤井先生のお話と写真がすごく面白かったです。子どもが20歳&18歳の時に、のとじま水族館の駐車場で皆既日食を見たいと思いました。(母)